新年を迎え、あらためて「スーパー堤防構想」を撤回さすために そんな願いを込めた住民の方の投稿をここに紹介します

「スーパー堤防建設に反対します」
八丁目在住　堀尾妙子

昭和49年の1月、北小岩に移り住んではや35年になります。江戸川の堤防間近で、既に区画整理された道路は碁盤の目の様になっており、東京都内では珍しい程の自然環境にも恵まれた、静かな住宅地で、まさに終の棲家と思っております。

平成元年には下水道設備も完備し、それに合わせてプロパンガスから都市ガスへ、皆さんと申請したり致しました。また親水緑道も完成して、種類も豊かな樹木も植樹され、樹齢を重ねて野鳥も飛び、子どもたちや多くの人々や犬たちの、楽しく安全な散歩道になっております。

北小岩の堤防は、科学的にも極めて安全度の高い構造になっている事が、国や都の資料その他、数々のデータで証明されており、何のために、誰のためにスーパー堤防を建設するのでしょう。

「スーパー堤防建設に反対します」
八丁目在住　藤井佐代子

一、堤防の上に住みたくないのです。
・風当たりが平地に比して非常に強い。北風、突風、台風に家がゆれ、軋み、ヒューヒューした風の音。屋根も飛ぶかもしれない中で暮らしたくありません。
・毎日の外出が気楽にできなくなります。平地でも杖・手押し車に頼る足腰の弱い方が沢山います。坂を登ったり降りたり、階段もあるかも知れません。

二、住む家がなくなり、土地も減ることに賛同できません。家と土地は我が家の大切な財産です。代替地を下さるか、お金を支払って下さい。築四十年の家でもまだまだ住めます。壊されても家を建てるお金はありません。無賃の集合住宅にも住みたくありません。

三、我が家は親水緑道の前に建っています。早朝から夕方、夜半まで散歩の人達で賑わっています。川遊び、エビ、ザリガニ、魚を追いかける子供達もいます。鯉にエサをあげる方も少なくありません。この憩いの親水緑道も壊すのでしょうか。

安中茂作のスーパー川柳　第五十弾

引っ越しは
冥土の旅の
一里塚

「スーパー堤防には反対です」
八丁目在住　高嶋亜矢子

今の堤防を強化・補強していくので良いと思います。もし大雨が起こって現在の堤防が決壊しても、スーパー堤防の上を増水した水が緩やかに町に流れ込んでもどちらも水害の被害は同じです。

だったらバカみたいに税金を注ぎ込んでスーパー堤防を造って、結局水害に遇うなんて事を選ぶ必要はないと思います。今あるものを強化して、もしもの時の対策にもっと力を入れた方が現実的だと思います。

「スーパー堤防に反対する理由」
八丁目在住　稲葉民子

①江戸川区が計画している何百年に一度の超過洪水に備えるスーパー堤防などという巨大な無駄遣いに納得できません。
②多くの犠牲を払ってまで、スーパー堤防は必要ない
・補償問題
・移転期間（4年）それ以上かかると思います。
・引っ越しによる精神障害（特に高齢者）
③安全で静かな町が好きで、ずっと住んでいたいから
④北小岩は液状化や超過洪水に対する安全性が極めて高い構造であることが、国や都の資料、データが証明しています。それなのに何故スーパー堤防を建設しようとするのか。反対です。

「スーパー堤防に反対の理由」
八丁目在住　富澤万里

私がスーパー堤防建設に反対する理由は、5年前に購入した、この家にずっと住み続けたい、どこにも行きたくないという気持ちからです。私たち家族は川沿いではありますが、交通量は多くなく子どもが家の前で遊んでいても、さほど危険でない。そしてとても空が大きく見えて恵まれた環境のこの場所がとても気に入っています。スーパー堤防ができるとなれば、ローンを払いながらどこかに仮住いをせねばならず、帰って来れたとしても、今までの環境のまま生活することはできないし、再び家を立てることが難しいと思います。

堤防を造る話が出ているのに次々と新しい家が建っているのはどう言う事でしょう。後で全部壊すからいいと言う事なのでしょうか？　治水対策は別の方法ですべきだと思います。